



島根県の間伐材を使用した印刷用紙・間伐ホワイト(国産材・間伐材パルプ10%を含む)70%を配合)を使用しています。

森林・林業総合情報誌

しまねの もり 森林



NO. 13

平成20年10月号
通巻253号

2008 しまねの森林フォトコンテスト 入賞作品



最優秀賞

「雨上がりの5月/雲南市」 榎野 朝雄 (松江市)



優秀賞

「緑に向かって/松江市」 鶴島 里子 (松江市)

2 森林のたより
新たな農林水産業・農山漁村活性化計画 地域プロジェクト
「乾燥材製品の供給プロジェクト」の取り組み
西部農林振興センター益田事務所 林業部

4 森林のトピックス
山のみち地域づくり交付金による県営広域基幹
林道整備事業がスタートしました!
森林整備課 林道グループ

5 森林のトピックス
グリーンマイスター養成研修がんばってます!
林業課 森林組合育成強化スタッフ

6 ズームアップ
2008『しまねの森林』
フォトコンテスト入賞作品決定!!
「しまねの森林」発行委員会

7 森林へ行こう!
vol.⑨ 京羅木山 (東出雲町)

しまねの自然
森林と野鳥⑤ フクロウ

8 森林のQ&A
竹は木それとも草?
林業課 林業普及スタッフ

9 森林の研究
製材所で扱う丸太はどこから?そしてどこへ?
中山間地域研究センター 農林技術部 木材利用グループ

2009『しまねの森林』フォトコンテスト開催中

詳細は10ページをご参照ください。

表紙の説明

◇2008「しまねのもり」 フォトコンテスト入賞 作品

「しまねの森林」発行委員会では、島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を多くの人々に理解して頂くために、テーマを「しまねの森林」として、今年で第3回目となるフォトコンテストを開催し、入賞作品を決定しました。

詳しくは、6ページのズームアップをご覧ください。

表紙の作品は、最優秀賞、優秀賞の2作品です。



「水と緑の
森づくり事業」
ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/mizumori/>

森林のたより

"新たな農林水産業・農山漁村活性化計画 地域プロジェクト「乾燥材製品の供給プロジェクト」の取り組み"

西部農林振興センター益田事務所 林業部

近年、消費者の住宅に対するニーズは、「安全・安心・健康」に高い関心が寄せられており、地域における住宅供給もこれに対応する方向での取り組みが重要となってきています。

とりわけ、住宅建築で使用する木材については、寸法変化が少なく、かつ強度が増す乾燥材へのニーズがますます高まっています。

このため、製材所等においては乾燥材を安定的に供給する体制を整える一方で、地域材にこだわった良質な家づくりを進める工務店や建築士との連携を図り、高津川流域で生産・加工された乾燥材が個人住宅の建築に積極的に活用されるよう取り組みを進めています。

また、公営の木造住宅建設においても、地域の製材業者が連携して流域の乾燥材を確保・供給する体制を整備し、公共部門での流域材の利用促進にも取り組んでいます。

乾燥材を使用した家づくり

大手住宅メーカーに対抗し、地域に密着した家づくりを進める工務店・建築士と木材を供給する側の製材所・素材生産業者が、品質・性能の明確な商品である住宅部材としての乾燥材を安定的に供給するために連携（グループ化）し、消費者に安心してもらえる「乾燥材使用の家」づくりを進めています。

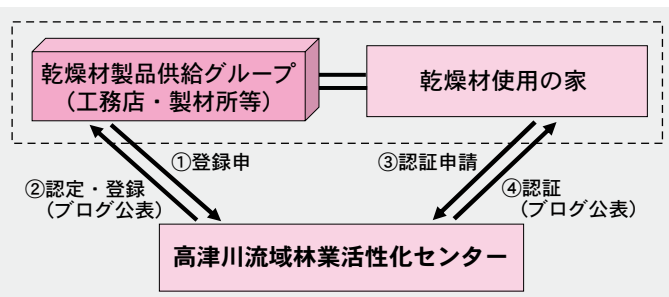
【仕組み】

■乾燥材製品の供給グループの登録


業種間連携により流域の乾燥材を使用した家づくりを進めようとする工務店、建築士、製材所、素材生産業者などは、「乾燥材製品の供給グループ」として、高津川流域林業活性化センターへ認定を申請し、活性化センターは審査のうえ供給グループとして登録し、公表（ブログ）します。

■乾燥材使用の家の認証

登録を受けた乾燥材製品の供給グループが、流域の乾燥材を使用した家であることの認証を受けようとする場合は、高津川流域林業活性化センターへ認証を申請し、活性化センターは構造材の含水率(20%以下)等の確認を行った後、「乾燥材使用の家」として認証し、公表（ブログ）します。




未来を見つめ、人と自然と産業の豊かな調和をめざします。

 **農林中央金庫**
松江支店

松江市殿町111 松江センチュリービル4F TEL(0852) 21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ
一制度資金のご融資を通じて地元林業を応援します—

 **日本政策金融公庫**
松江支店 農林水産事業

〒690-0887 松江市殿町111番地(松江センチュリービル7階)
TEL: 0852-26-1133 E-mail: matsue@afc.jfc.go.jp
FAX: 0852-24-5334 HP: <http://www.afc.jfc.go.jp/>

【認証等実績】

- 供給グループの登録 9グループ（平成18～19年度）
- 乾燥材使用の家の認証 2棟（平成19年度）

乾燥材製品の供給グループ名簿

番号	グループ代表(工務店)	グループ企業(木材加工)	グループ企業(素材生産)
1	(株)リンケン	高津川森林組合	
2	(有)住宅産業	高津川森林組合	伸和産業(株)
3	(有)岸高建設	(株)佐々木馬一商店	(株)美都森林
4	徳栄建設(株)	(株)益田原木市場	(株)佐々木馬一商店
5	徳栄建設(株)	(株)又賀製材所	
6	(株)森本建設	(株)又賀製材所	島根内陸材加工(協)
7	大畑建設(株)	(株)又賀製材所	
8	(有)岸高建設	(株)又賀製材所	
9	(株)森本建設	安野産業(株)	



(株)リンケングループの家



(有)岸高建設グループの家

公共住宅への流域材供給

公営の木造住宅建設などにおいて、地域の木材（流域材）の利用を促進し、林業の循環システム機能による森林の整備促進を図るため、高津川流域で生産・加工された木材を「高津川流域材」として認証するシステムを構築するとともに、地域の製材業者等が連携して流域材を確保・供給する体制の整備・強化に取り組んでいます。

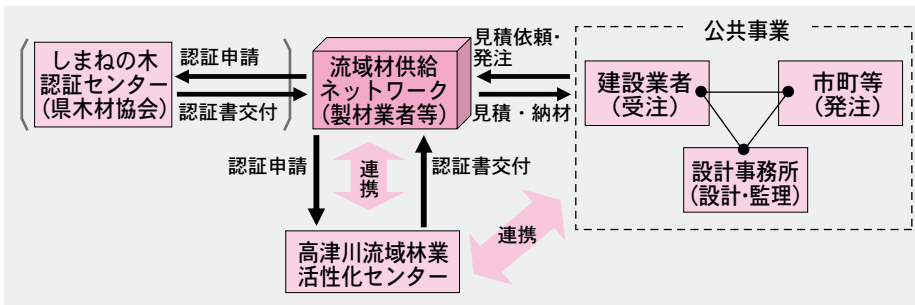
【仕組み】

■高津川流域材認証システム

公営の木造住宅の建設を市町が発注する際、流域材として産地を確認・証明する仕組みがなかったため、仕様書の中で「流域材の使用」を明記してもらえないという課題があったことから、高津川流域林業活性化センターにおいて流域材を認証するシステムを構築しました。

■高津川流域材供給ネットワーク

仕様書の中で「流域材」の使用が指定されたとき、必要とされる量が納期までに揃えられるかという課題もあったことから、流域内の製材業者等によるネットワークを組織し、相互の連携・協力により流域材の必要数量を確保・供給する体制を整備しました。



益田市の公営住宅



吉賀町の公営住宅

【認証等実績】

- 益田市公営住宅：244㎡ 木造2階建て4棟（14戸）延べ床面積 1,014㎡（平成19年度）
- 吉賀町公営住宅：64㎡ 木造2階建て2棟（4戸）延べ床面積 320㎡（平成19年度）

地球にやさしいカートカン

※国産材30%以上使用した紙製飲料容器です。

eco products awards 2006

カートカン(紙製飲料缶)
カートカンは
第三回エコプロダクツ大賞
エコプロダクツ部門
農林水産大臣賞受賞
A-11-070039

●紙製飲料容器「カートカン」は
ストローいらずでゴクゴク飲めます!

カートカンのサイクル

POKKA

お問い合わせは「自販機本部」
(03)5634-1621まで

株式会社ポッカコーポレーション
<http://www.pokka.co.jp/>

山のみち地域づくり交付金による県営広域基幹林道整備事業がスタートしました！

～山村地域の活性化をめざして～

森林整備課 林道グループ

■事業着手までの経緯

当事業の前身である緑資源幹線林道事業は、林野庁が昭和48年に策定した大規模林業圏開発基本計画を基に、長期的、総合的な地域開発を目的として起ち上げられました。

これにより、広域林道ネットワークの中核となるべき大規模林道の開設が先導事業として実施され、島根県においては昭和48年に「日野・金城線」、昭和52年に「波佐・阿武線」、さらに平成4年には「金城・三隅線」が着手され、うち「日野・金城線」は平成16年に全線開通がなされました。

しかし（独）緑資源機構が平成19年度限りで廃止されたことから、事業の目的を達成するために島根県がこれを継承し、平成20年度より山のみち地域づくり交付金事業として県営事業により着手することとなりました。

■事業の目的

奥地の森林地域において骨格的な広域基幹林道を整備することにより、「森林整備の促進」、「林業を始めとする地域産業の振興」、「農山村地域の生活環境の向上」、「森林レクリエーション等の森林総合利用の促進」等を通じて地域の活性化を図るものです。

■事業の計画

平成20年度から県営で実施する事業計画は次のとおりです。

単位：km

路線名	市町名	全 計 体 画	うち緑機 構実施分	うち県営実施計画分		緑機構林道当時の名称	
				全体計画	H20計画	路線名	区間名
金城弥栄	浜田市	25.4	10.1	15.3	0.4	金城・三隅	金城・弥栄
三隅	〃	8.8	4.4	4.4	0.1		三隅
笹山山入	津和野町	10.6	7.8	2.8	0.2	波佐・阿武	津和野
匹見美都	益田市	4.0	0	4.0	0		匹見・美都
合計		48.8	22.3	26.5	0.7		

■路線の計画位置



金城弥栄線供用区間



笹山山入線供用区間

森林の中で働く人のお手伝いをします

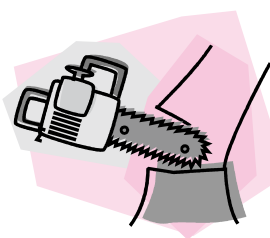
島林労確 |

検索

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 高性能林業機械の貸付
5. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6. 雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター（社団法人 島根県林業公社内）

松江市母衣町55番地4（松江商工会議所ビル6F）TEL (0852) 32-0253 FAX (0852) 21-4375
E-Mail shimane-roukakuc@forestry-shimane.or.jp



グリーンマイスター養成研修 がんばってます!

林業課 森林組合育成強化スタッフ

先日、邑智郡邑南町で実施されているグリーンマイスター養成研修「作業道設置講習」の様子を見学させていただきました。「作業道設置講習」は、9月16日～19日（学科1日、実技3日）で行われ、見学させていただいた9月17日は実技研修の初日の日でした。

今年度の養成研修には、森林組合から5名、林業事業体から6名、合計11名の研修生の方に参加していただいています。見学させていただいている途中で、バックホーの順番を待って見学している研修生の皆さんのいろいろな声が聞こえてきました。「順番が早くこんかいなー」、「慣れた人がやるともっと効率よくできるんだらうけどなー」、「傾斜がきつく感じるなー。どのくらいまでの傾斜まで耐えられるか解らん。」、「もうちょっと削った方がいいんでは。」

順番待ちの間も研修生の皆さんが、かたまっている意見交換を行っている様子を見ると、研修も中盤にさしかかり、事業体を超えて連帯感も生まれてきたように感じました。

この研修で実技を磨いていただき、研修生の皆さんが、島根県の森林に低コストで安全な路網整備を行っていただきたいと思います。

グリーンマイスター養成研修は11月下旬まで続きます。12月の修了証交付式まで、全員の受講生の方が安全に受講し、研修を修了していただきたいと思います。

○グリーンマイスター養成研修

この研修は、昭和57年から始まり、昨年度までに209名を「島根県林業作業士（通称：グリーンマイスター）」として認定しています。平成8年度までは県が直接実施してきましたが、「林業労働力の確保の促進に関する法律」の施行に伴い、平成9年度に社団法人島根県林業公社を「島根県林業労働力確保支援センター」に指定し、研修業務を委託して実施しています。

○グリーンマイスター養成研修の目的

森林組合や民間林業事業体に雇用されている若手の現場技術者（40歳未満）で、林業の基本技術を習得しており、将来の作業班のリーダー（班長）になりうる方を対象にしており、より幅広く専門的な林業の技能・知識を習得させることを目的として実施しています。

○研修で取得可能な資格

この研修を通じて、以下の資格等が取得可能です。

- ・ 林業架線作業主任者免許
- ・ 機械集材装置運転教育修了証
- ・ 玉掛け技能講習修了証
- ・ はい作業主任者技能講習修了証
- ・ 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- ・ 普通救命講習
- ・ 車両系建設機械特別講習修了証

○研修経費の助成

今年度から、(財) 島根県みどりの担い手育成基金の森林管理技術スキルアップ事業で、県内認定事業主を対象にグリーンマイスター養成研修受講費用の助成を行っています。



自然との調和

松くい虫防除薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
ヤシマスミパインMC
マツグリーン液剤2
モリエート SC

松くい虫駆除薬剤

ヤシマ NCS
ちゅらシート
カシナガ予防薬剤
ケルスケット

松くい虫予防薬剤

グリーンガード・エイト

瞬間殺蜂スプレー

ハチノックL・S



ヤシマ産業株式会社 大阪営業所
〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-1-26 オリエンタルビル5F
TEL 06-6886-0241 FAX 06-6886-0242



2009『しまねの森林』 フォトコンテスト 開催中!

詳しくは10ページの
インフォメーションを
ご覧下さい。

2008『しまねの森林』フォトコンテスト 入賞作品決定!!

「しまねの森林」発行委員会

島根県の森林・林業情報誌「しまねの森林」では、県内の恵み豊かな自然、緑豊かな森林の魅力を広く理解していただくために、2006年からフォトコンテストを開催しています。

第3回となる2008『しまねの森林』フォトコンテストは、メインテーマを「しまねの森林」として、島根の森林や樹木に関わる幅広いテーマを掲げ、作品の募集を行いました。

昨年10月から今年7月31日までの募集期間に、15名の方から38点の作品の応募があり、去る9月12日（金）に日本写真協会会員の成相吉堯氏（松江市在住）を審査委員長とする審査委員会（審査委員5名）により、厳正な審査を実施し、入賞作品を決定しました。

2009年も引き続きフォトコンテストを開催しますので、より多くの方からのご応募をお待ちしています。

最優秀賞



「雨上がりの5月」（雲南市）
楨野朝雄/松江市

優秀賞



「緑に向って」（松江市）
鶴島里子/松江市

入選・佳作



入選「植樹祭」（出雲市）
藤江松男/出雲市



入選「里山の春」（安来市）
立石英男/松江市



入選「奥出雲の林道」（雲南市）
岩田忠雄/安来市



佳作「林間のしゃくなげ」
（雲南市）高橋 勝/雲南市



佳作「人の心を豊かにする森林」
（吉賀町）佐川俊二/松江市



佳作「森林を抜けて」
（雲南市）佐伯範夫/安来市



佳作「山村風景」（雲南市）
石倉貞昭/松江市



佳作「山頂より望む」（松江市）
鶴島 勇/松江市

森林へ行こう! vol. 9

京羅木山 ●東出雲町／標高：473m



月山富田城二ノ丸から望む京羅木山

京羅木山は、東出雲町と安来市広瀬町の境に位置し、中海・宍道湖や鳥取県の大山、眼下に能義平野を望む好眺望の山です。

出雲国風土記では「高野山」の記述があり、この京羅木山とする説と、東出雲町と松江市八雲町の境に位置する星上山(458m)とする説があります。また、京羅木の語源には「清木」、「京萩」など諸説があるようです。

戦国時代には、尼子氏の居城月山富田城を攻略するため、はじめ大内・毛利連合軍が本陣を置き、後には毛利軍が尼子氏攻略の足がかりとしたところで、ふもとには三矢の教えで有名な毛利元就が戦勝を祈願して建立したと伝えられる出雲金刀比羅宮もあります。

出雲金刀比羅宮の現在の社殿は、明治12年に建て替えられたもので、この社殿を右に進むと登山道への表示板があります。山頂まで約1.8kmの登山道には、案内板や樹木の名札などもあり、ハイキングコースとして整備されています。また途中には山伏塚があり、平安時代末期の山岳信仰の修行の場であったこともうかがえます。

頂上からは、南東側の眼下に月山と広瀬の街を見下ろすことができ、尼子氏攻略にこの地が選ばれた理由が推察されます。また、ここには平和観音像も建てられ、ベンチも並んでいます。

この山をよく訪れる知人から、「自分の先祖が暮らしてきた能義平野をこの山頂から眼下に望むととても感慨深い」という言葉を伺いましたが、皆さんも住んでいる地域をそれぞれの地域の山から眺望してみると意外な発見があるかもしれません。

〔内藤暢文〕



山頂から望む月山(中央)

しまねの自然

森林と野鳥 ⑤

フクロウ

(フクロウ科)

島根県内でよく鳴き声が聞かれるフクロウの仲間は、アオバズクとフクロウである。アオバズクは全長29cmと小型でキジバトよりも少し小さく、青葉が繁る春に東南アジアなどから渡来し、子育てをした後秋に南の地に帰って行く夏鳥である。鳴き声は「ホーホー」と二声ずつ聞こえる。これに対しフクロウは一年中生息している留鳥で、体長も50cmと大きい。鳴き声は「ゴロスケホーコー(五郎助奉公)」とか「ノリツケホーセー(糊付け千セー)」などと聞きなされる。

写真はフクロウ、夜行性のため昼間はほとんど見ることはないが、まれに里山の林内で出会うこともある。食性は動物食で、小型の哺乳類、鳥類などを主な餌としている。中でもネズミ類を捕食することが多く、米国ワシントン市の例では納屋で繁殖を終えた後に454頭のネズミの頭骨が残されていたという報告がある。

フクロウの仲間は、大木の樹洞に巣を作ることが多い



が、近年樹洞のあるような大木が少なくなり、深刻な住宅難に陥っている。農作物に被害を及ぼすネズミの捕食例からも分かるように、フクロウは生態系の調整役として大いに貢献しており、その保護を図っていくことは私たちの暮らしにとってもメリットが大きい。身近にある老木を含めた樹木を残し、フクロウをはじめとする野生動物と仲良く暮らしていきたいものである。〔佐藤仁志〕

竹は木それとも草？

林業課 林業普及スタッフ

■竹は木それとも草どちらでしょう？

竹と木の相違点

竹は木質化する点では木と似ていますが、成長期間が60日程度で伸長成長と肥大成長（形成層はない）は終わり、木のように毎年成長することはありません。

繁殖方法は竹は地下茎による無性繁殖によりますが、木は種子による有性繁殖がほとんどです。竹は竹稈が空洞で表面はクロロフィルがあり滑らかですが、木は幹全体が木材で充填され、表面は多くのものがざらついています。開花状況では竹は長期間（モウソウチクで67年の例など）を要して開花し、開花後は枯死しますが、木は多くのものが毎年開花し、開花後は枯死しません。

竹と草の相違点

成長期間が竹も草も数十日間と似ていますが、草は木質化することはありません。形状では竹は大型（20m以上）から小型のものまでありますが、草は小型です。開花状況はタケは前述のとおりですが、草は短期間で開花し、開花後は枯死します。

このようにタケは木や草と比較してみると相違点が多いことが分ります。結局は上田弘一郎博士が言われた「竹は木のように木でなく、草のように草でなく、竹は竹だ。」が正解です。

■竹林拡大問題について

かつては竹材は土壁の下地（小舞竹）、ビニールハウスの骨組み、養殖用筏、農業用の籠など多くの利用がありましたが、それらは代替品に取って代わり、更に安価で大量に輸入される竹製品と筍により県内の竹材と筍の生産は急速に減少しました。

一方、中山間地域で見受けられます休耕地や造林地などで光と水が十分あるところは、竹の地下茎にとっては好条件のところではあります。

このような状況により管理のできないところでは次第に侵入竹が広がってきたと考えられます。

島根県内の筍生産量及び竹林面積の推移

単位 生産量：トン、面積：ha

区分	S57	S62	H4	H9	H14	H19	備考
筍生産量	1,811	1,517	1,052	524	133	53	H19/S57=0.03
竹林面積	7,954	8,241	8,671	9,670	9,722	10,054	H19/S57=1.26

竹林の拡大阻止として皆伐を行います。皆伐したから阻止できたと思っははいけません。残っている地下茎では節のところから休眠芽が発芽して細い程が多数発生し、元の状態に回復しようとしています。よって、翌年度以降も筍や稈を伐って歩く必要があります。


竹の利用として竹炭、竹酢液などが多いですが、最近では竹パウダーを牛の飼料やマルチング資材などに利用可能であることが分かり、今後の利用が期待されています。



背負い籠（小さい方は野菜などを入れ、大きい方は養蚕用の桑を入れて運んでいました。）



正月用の飾りとしてナンテン等を入れます。（広島市場へ出荷されたこともあります。）



みんなを
まもろう！

山陰の森林・環境を守ろうとするNPO法人やボランティア団体が結集しています。

森林を守るう！

山陰ネットワーク会議

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

植物油 生分解性オイル

YSバイオチェーンオイル

エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号

●全国をネットする総合潤滑油メーカー

ヤナセ製油株式会社

本社/06-6939-1251・米子営業所/0859-27-2933

森林の研究



製材所で扱う丸太はどこから？そしてどこへ？

中山間地域研究センター 農林技術部 木材利用グループ

■はじめに

島根県内において、製材所が購入する原木は、そのほとんどが原木市場を経由して流通しています（写真）。この市場を経由している原木の集荷先や出荷先ごとの樹種や量については、これまで十分把握されていませんでした。そこで、県内6ヶ所の原木市場（流通センターを含む）を対象として、平成18年1～12月に開催された市のうち、各月1回を抽出により調査しました。なお、流通センターについては、年間の取扱量が他の市場に比べて少量であったため、総取扱量を調べました。



原木市場に集荷された原木

■集出荷状況について

調査した市での原木の集荷量は合計33千㎡でした。その構成比はスギが52%、ヒノキが18%、マツが30%で、スギが集荷量の約半分を占めていました。

集出荷先については、スギは本県内から50%以上集荷し、それ以外では広島県と山口県の割合が高くなっています。出荷では、県内向けが85%以上と非常に高い割合を占めています。ヒノキは本県から60%、広島県から30%集荷しています。出荷では、県内向けが60%で、その他に広島県と岡山県への出荷割合が高くなっています。マツは、本県と広島県からの集荷割合が約90%を占め、ほとんどこの2県から集荷しています。出荷では本県内へ60%、山口県と岡山県への出荷がそれぞれ15%を占めていました（図1）。

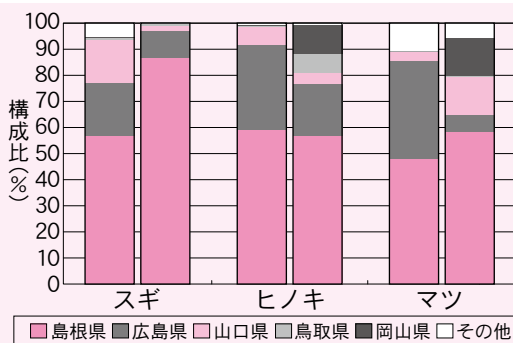


図1 県別の集出荷割合 (各樹種の左棒は集荷割合、右棒は出荷割合)

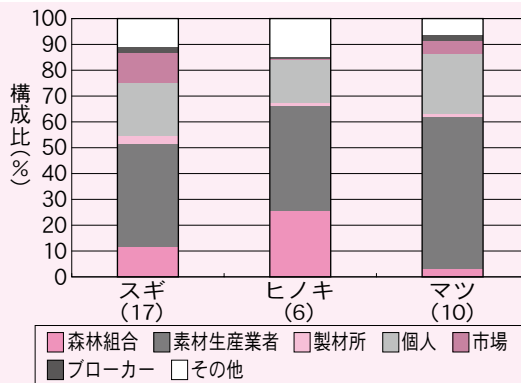


図2 集荷者の業種別内訳 (樹種の下の数値は材積 (千㎡))

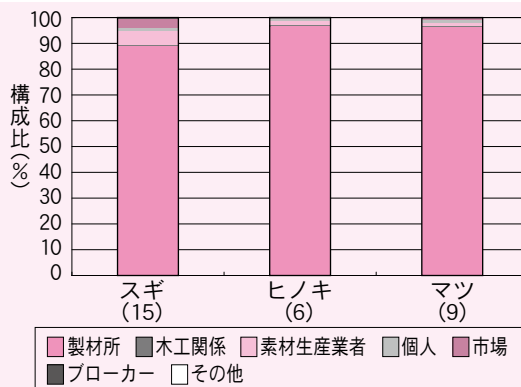


図3 出荷者の業種別内訳 (樹種の下の数値は材積 (千㎡))

■集出荷者について

集荷者については、素材生産業者の集荷割合が高く、特にマツの集荷割合の大半は素材生産業者でした。森林組合はスギとヒノキの集荷が主体でした（図2）。また、出荷者については、大半が製材所であることが確認できました。市場の集荷量が県内の製材所に与える影響が大きかったことがわかりました。（図3）

(科長 中山茂生)

社団法人 島根県森林土木協会

◆ 治山事業、林道事業及び
森林整備事業の普及促進

松江市母衣町55林業会館
TEL: (0852) 21-2669
FAX: (0852) 21-2231
E-mail: sima-sdk@axel.ocn.ne.jp

インフォメーション

元気がでる！ 島根県民の森(飯石郡飯南町小田) 県民の森へ行こう!!

11月～1月のイベントのご案内

《県民の森ふれあい講座》

申込先：県民の森研修館 TEL 0854 (76) 3119

- ◆11/2・3(日・月) 紅葉の県民の森トレッキング(定員20名)
- ◆11/16(日) 森林作業体験(定員20名)
- ◆12/7(日) 初冬の県民の森トレッキング(定員20名)
- ◆1/21(日) スノーシューで雪の森を歩こう(定員20名)

《森林スキルアップ研修》

- ◆11/23(日) 森づくり木づかい講座(きのこ植菌編)(定員20名)

県民の森は山陰唯一の森林セラピー基地に認定されています。森林の癒しの効果を5感で感じ取られてはいかがでしょうか。いつでも県民の森をご案内します。お気軽にご相談ください。詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/mori/>

身近な自然に親しもう！ 島根県立ふるさと森林公園 触れ合おう！ 松江市宍道町佐々布

「里山自然塾」に参加してみませんか？

ふるさと森林公園を管理している島根県立緑化センターでは、公園内の自然を活用したイベントの一環として里山自然塾を年間12回開催しています。

11月～1月の講座の御案内

- ◆11月9日(日) 第8回講座「紅葉の森の散策と、葉っぱの絵本づくり」
- ◆12月7日(日) 第9回講座「里山素材のリースを作ろう」
- ◆1月11日(日) 第10回講座「七草を学び食べてみよう～正月の伝承文化」

◇定員：各回20名程度

◇参加料：無料 事前予約が必要です。

◇問い合わせ、申し込み先：ふるさと森林公園学習展示館
TEL 0852-66-3586

島根県の恵み豊かな自然、 緑豊かな森林を撮ろう!!

2009

『しまねの森林』フォトコンテスト

(森林・林業総合情報誌)

テーマ「しまねの森林」

森林には、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止、湧水や洪水の緩和、保健・レクリエーションなどの多面的な機能があります。身近な森林や山々、シンボリックな樹木、森と人とのふれあい、森に育まれている野鳥などの写真をご応募下さい。

応募作品

一人何点でも応募いただけます。ただし、島根県内で撮影した未発表のものに限ります。デジタルカメラの場合、合修正は不可です。

写真サイズ

2Lサイズから4切までとします。台紙貼り付けは不可です。(スナップ写真大歓迎)

応募方法

必要事項を記入した応募用紙を作品の裏側にセロテープでとめてご応募下さい。

応募締切

平成21年7月31日(金) 当日消印有効

応募・お問い合わせ先

「しまねの森林」発行委員会事務局
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
島根県庁林業課林政企画グループ TEL0852-22-5158

表彰

最優秀賞1点(賞状・賞金5万円)
優秀賞 2点(賞状・賞金2万円)
入選 3点(賞状・図書カード5千円)
佳作 5点(賞状・図書カード3千円)
※同一の応募者の方の重複しての受賞はありません。

審査

主催者が委嘱する審査委員会において選考、決定します。森林・林業総合情報誌「しまねの森林」(No.17)平成21年10月号の紙面に入選作品を掲載のうえ発表します。また、入賞者には直接通知します。

メールマガジン

『しまねの森林』メンバー募集中!

森林・林業・木材産業に関する各種情報を満載したメールマガジンを配信します。

◆配信内容

配信周期：毎月1回程度(不定期)
料 金：無料
主な内容：行政情報、イベント情報、
募集情報、木材市況など

◆登録方法

パソコン・携帯電話から次のメールを送信していただければ、登録は完了となります。
宛先：ringyo@pref.shimane.lg.jp
題名：メルマガ登録
本文：ご職業 (例) 林業
お住まいの市町村 (例) 松江市

応募上の注意

- ◆人物を被写体とする場合は、応募に際しては必ず本人の承諾を得て下さい。
- ◆入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。使用したフィルム(ポジ、ネガ)、画像データ(CD-Rなどのメディア)を後ほど提出していただきますので保管をお願いします。
- ◆応募作品は原則として返却しません。ただし、返信用封筒(切手貼付、宛名明記)を同封で応募のあった返却希望者には、審査終了後返却します。入賞作品は返却しません。
- ◆応募作品は、「しまねの森林」ほかの広報に使用する場合があります。

主催/「しまねの森林」発行委員会

2009「しまねの森林」フォトコンテスト 応募用紙

住 所 〒 _____

T E L _____ () _____

氏 名 _____ () 才

職業または学校名 _____

撮影場所 _____

撮影年月 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

作品タイトル _____

全面改訂された

島根県土木部・農林水産部の

「島根県公共工事共通仕様書」

2分冊(本編・別冊(施工管理基準)) ご購入希望の方は、下記へご連絡ください。
セット価格計 6,300円 申込用紙を FAX にてお送りいたします。ご購入の上で返送をお願いします。

ご注文・お問い合わせは
ハーベスト出版【株谷口印刷内】
TEL 0852-36-9059 FAX 0852-36-5889
URL <http://www.tprint.co.jp/harvest/> E-mail: harvest@tprint.co.jp 〒690-0133 島根県松江市東長江町902-59



林業・木材製造業 労働災害防止協会 島根県支部

〒690-0886 松江市母衣町55
林業会館3F
TEL 0852-21-3852
FAX 0852-26-7087

森林の緑を守り、緑を育てる

—主要販売品目—

- ◎林木苗畑（除草剤、殺虫、殺菌剤）
- ◎松くい虫防除薬剤（スミバインMC、林業用NCS）
- ◎林地除草剤（フレック粒剤、ザイトロンフレック微粒剤）
- ◎樹幹注入剤（ネマノン、グリーンガードエイト、マツガード）

山陽薬品株式会社 島根支店

〒690-0011 松江市東津田町1252
TEL(0852)23-3721(代) FAX(0852)27-5322

豊かな緑 豊かな水をみんなで守る。



「緑の募金」運動が多くの皆様に理解され、
県民挙げての運動として発展していきますよう
ご協力をお願いします。

(社)島根県緑化推進委員会 (特定公益増進法人)

松江市母衣町55 島根県林業会館内
TEL(0852)21-8049 FAX(0852)21-8231

森林の安心をふやしたい

対象となる災害
火災、気象災、噴火災

森林国営保険



間伐直後には
是非保険に
加入しましょう！

近年、地球温暖化の影
響で自然災害が大規模化
しています。

また、間伐直後は自然
災害に遭いやすい傾向が
あります。

このことから、壮齡林
の保険加入の必要性が見
直されています。

森林所有者の皆さん、
せっかく何十年も手塩を
かけて育ててきた森林で
す。是非、森林国営保険
へ加入し、森林災害に備
えましょう。

例：スギ40年生
契約期間1年
契約面積1.00ha
付保率100%
で契約した場合
☆保険料8,730円/年
☆台風で立木すべてが被災した
場合支払われる保険金額
291万円

お問い合わせ先
最寄りの森林組合
森林組合連合会
県庁森林整備課

サンケイ化学の松くい虫防除資材

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミバイン®MC

伐倒木用くん蒸処理剤

キルバー®

松枯れ防止樹幹注入剤

グリーンガード®・エイト

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社 大阪営業所
大阪市淀川区西中島4-5-1 TEL 06(6305)5871

新発売 散布用薬剤

モリエート®SC

伐倒木くん蒸用生分解シート

ピオフィレックス®

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤

マダラコール®

除草はおまかせ下さい！

竹類に効果抜群です！

クズ株処理剤

○テンレート

非農耕地用除草剤

日本カーリット株式会社

九州営業所
福岡市博多区博多駅前1-4-4
☎(092)473-6521
FAX(092)451-8195

○グンゴウ液剤

1株一ワンプッシュ 経済的

野津善助商店

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10
☎(0852)53-0670(代)
FAX(0852)53-0674
E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社

代表取締役社長 椎名 宜三

本社 島根県松江市東朝日町87番地6 〒690-0001

☎(0852)21-6222(代)

営業所 松江、益田、鳥取、三次、岡山



安全・安心・美味しい
日本産原木しいたけ栽培を応援します

財団法人 日本きのこセンター

三次支所

広島県三次市畠敷町916-2 (三次地方卸売市場内)

TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012

広域

島根県緑の少年団 活動発表大会

- 日時:平成20年8月4日(月)~5日(火)
- 場所:江津市松川町
島根県立少年自然の家



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

松江

企業参加の森づくり(マサコーポレーション 「未来の森」森林整備活動

- 日時:平成20年9月27日(土)
- 場所:松江市八雲町
星上山



東部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/>

雲南

民国連携森林整備 推進協定締結式(井原谷地域)

- 日時:平成20年7月29日(火)
- 場所:雲南市木次町
雲南市役所



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

出雲

親子木工教室

- 日時:平成20年9月27日(土)
- 場所:出雲市今市町
出雲科学館



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

浜田

島根県林業労働力確保支援センター みどりの雇用専門研修

- 日時:平成20年9月3日(土)~4日(日)
- 場所:浜田市後野町



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

県央

「竹林整備!~世界遺産を 守る森づくり~」実践

- 日時:平成20年9月15日(月)~18日(木)
- 場所:大田市大森町



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

益田

木材乾燥技術等 研修会

- 日時:平成20年9月18日(木)
- 場所:益田市昭和町
益田合同庁舎



西部農林振興センター益田事務所

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/

隠岐

除伐・枝打ち& 間伐講習会の開催

- 日時:平成20年9月25日(木)~26日(金)
- 場所:海士町保々見



隠岐支庁農林局

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/

農大

ドラム缶炭窯づくりと 炭焼きを実施

- 日時:平成20年7月18日(金)
- 場所:飯南町上来島
農科大学校飯南キャンパス



島根県立農科大学校森林管理科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>